



御堂筋STYLE創生
緑陰とにぎわいの街路づくり

御堂筋まちづくりネットワーク

平素は会の活動にご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、当会は、淀屋橋、本町界隈の御堂筋の活性化を目指し、沿道の不動産オーナーが中心になり各種の活動をしております。

その中で、御堂筋の街路環境のあり方は、まちの背骨となる部分で、これまで多くの議論をしてきました。まちの将来像を語る時、必ず御堂筋の街路上に豊かな御堂筋ライフを創り出すことが話題となりました。『御堂筋STYLE創生』と題する、当会が考えるまちの将来像には、〇年後の御堂筋としてそのシーンを描いております。

一方、御堂筋の街路における現状を見ますと、数多くの自転車、バイク等が長時間にわたり乱雑に駐輪されており、また、その街路上を歩行者数の1／3にもおよぶ台数の自転車が、歩行者の間をすり抜けるようにして行き交っています。今では、歌にまで唄われた銀杏並木の下をそぞろ歩くイメージはありません。当会が考えるまちの将来像の実現に向けて、安全で美しい街路に再構築するための、本格的な対策が急がれると考えます。

ここにこれまでの議論を取りまとめ、私どもが展望する街路のあり方をご提案させていただきます。これは、世界的な流れでもあり、まちなか再生のひとつのテーマとしてあげられる、環境に配慮した「ひと中心」のみちづくりと考えを同じくするものです。また、国土交通省近畿地方整備局様および大阪市様はじめご関係者がこれまで進めてこられた御堂筋における「にぎわい」「うるおい」「ゆとり」づくりを活かし、さらにより魅力的にする案であるとも考えます。

何卒ご高覧いただき、その実現に向け推進していただきたく存じます。これからも御堂筋が市民、ワーカールにとって誇りに思えるみちであり続けるために、そして大阪の顔・御堂筋のブランド価値のさらなる向上に繋がりますように、ご尽力賜ります様よろしくお願い申し上げます。

2004年6月

御堂筋まちづくりネットワーク

テーマ

MIDOSUJI
GALLERY

緑陰とにぎわいの街路

豊かな文化の香りに、知的刺激やこころのやすらぎを求めて多くの人々が集うギャラリーのごとく、高質な都市文化のギャラリーとなる「みち」であることをイメージしています。



4つのコンセプト

利便性の高いみち

- ・自転車とまちの共存
自転車は環境にやさしく、ビジネスにも強い味方
路上に駐輪スペースを整備、また自転車通行環境の改善を図る
将来的には、レンタサイクル事業の導入も
- ・快適、安全な歩行者専用道
現在の歩道から自転車通行を分離、車椅子もラクラク
- ・ループバスor“ゆったりモード”の導入
短距離の公的地上交通を導入、さらにこのまちが便利に、快適に

憩える・楽しめるみち

- ・木陰の『いこい』スペースづくり
新緑、黄葉を楽しむ木陰のベンチ、オープンテラス、ほっと一息
- ・木陰の『にぎわい』スペースづくり
路上のカフェテラスやキオスク、情報スタンド等によるにぎわいづくり
- ・『花とみどりのGALLERY』
緑地帯等を生かし、花とみどりによる『うるおい』の創出
平野町交差点のリーディングプロジェクトを展開

知的刺激のあるみち

- ・並木道が舞台に
新緑のイベント『御堂筋 SPRING GALLERY』
黄葉のイベント『御堂筋 AUTUMN GALLERY』
銀杏の通り抜け
- ・彫刻の『OPEN GALLERY』
沿道の彫刻はこのまちの大切な資産
彫刻にふさわしい環境の形成により、さらにその価値を高める

付加価値の高いみち

- ・美しく、きれいなみち
官民の協調により、ごみ、放置自転車・バイク、放置看板がなく、抑制のきいたみち
- ・質の高いストリートファニチャー
メインストリートは景観も大切、ストリートファニチャーは、デザイン、機能ともに世界水準のものを設置

街路の構造について

1. 断面構成を再構築する

- ・側道を歩行者自転車道に変更する（現歩道は歩行者専用道に）
- ・建物側の並木部分をアメニティゾーンとする
- ・歩行者専用道、アメニティゾーン及び歩行者自転車道は、多様な使用状況を想定し、路面に段差をもうけず一体的に整備する

2. フレキシブルな活用を可能とする

- ・歩行者自転車道の運用はフレキシブルにおこなう
 - LRT等、近距離の公的交通の通行を可能とする
 - 搬入車両の通行を可能とする
 - イベント空間に転用を可能とする（時間、場所限定）
- ・アメニティゾーンは街路環境の向上に寄与する多様な施設の整備を進める
 - ベンチ、オープンテラス
 - 情報スタンド
 - キオスク、カフェテラス
 - 駐輪スペース 等

3. 御堂筋の資産を活用、継承する

- 銀杏並木
- 彫刻
- 歴史

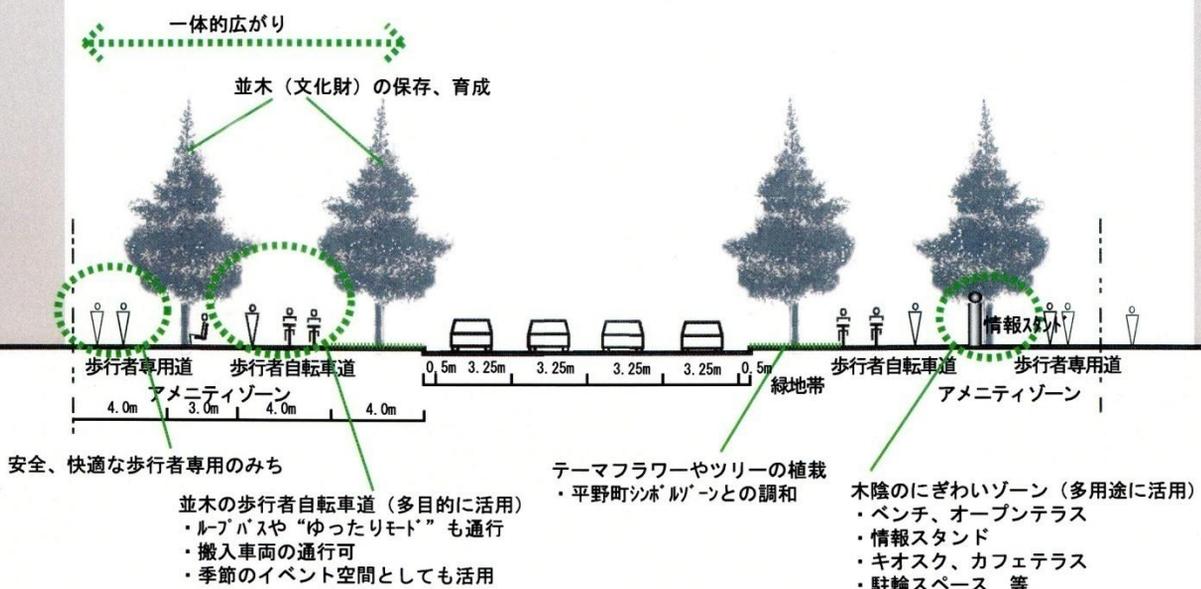


彫刻と新緑の並木みち



黄葉の並木みち

断面イメージ ※基本的な考え方を表す



交通について

ひと

- ・現状の歩道は、歩行者専用ゾーンにし、安全、快適な通行を確保 (W=4.0m) する
- ・建物側の銀杏並木の下はアメニティゾーン (W=3.0m) と位置づけ、ベンチやオープンテラスを配し、また彫刻周りの環境整備などにより、ひとが真に憩い楽しめるゾーンとする

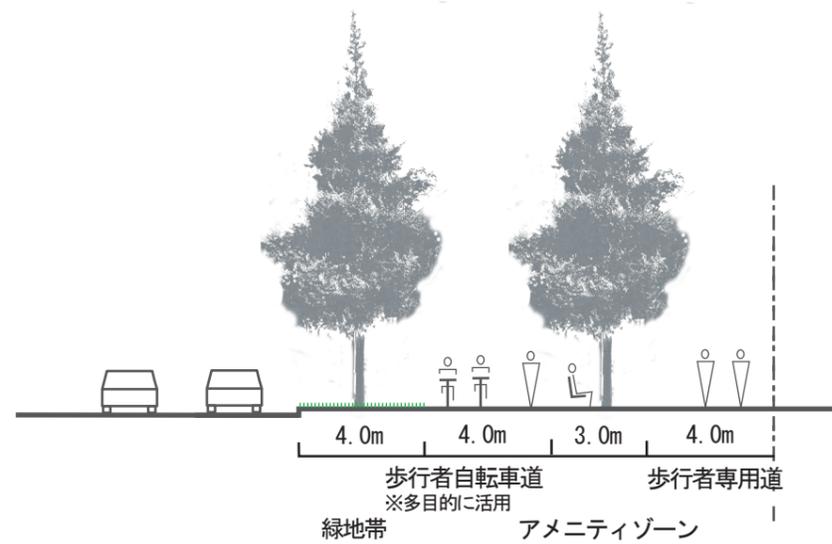
自転車

- ・現状の側道部分に自転車が通行できる道 (W=4.0m) として自転車歩行者道を確保する
- ・その道に面し、路上に駐輪スペースを確保。地下鉄駅付近等駐輪需要に応じ使われやすい位置に整備する

車

- ・タクシー降車スペースを設ける
- ・沿道建物への搬入のため、歩行者自転車道は許可車進入可とする
- ・公共交通 (LRT等) は歩行者自転車道を通行できることとする
- ・広域的な交通計画及び公共交通利用へ切り替えを啓発し、車の全体交通量を減らす様つとめる

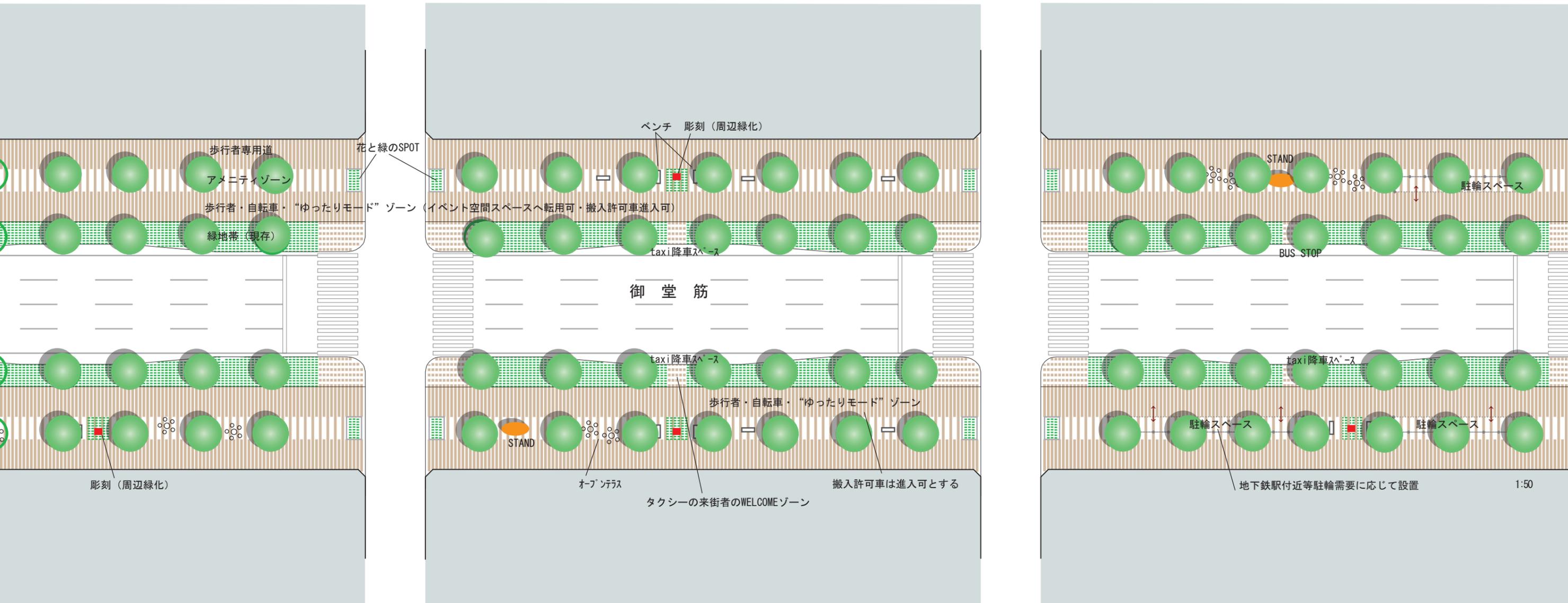
断面イメージ



歩行者自転車道やアメニティゾーンのイメージ

平面イメージ

※基本的な考え方を表す



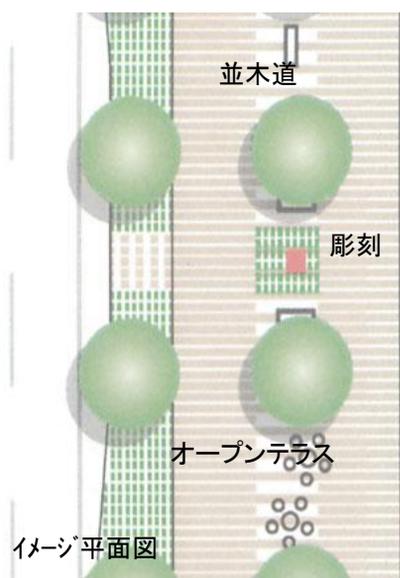
1:50



彫刻を鑑賞する空間



心地よい並木道



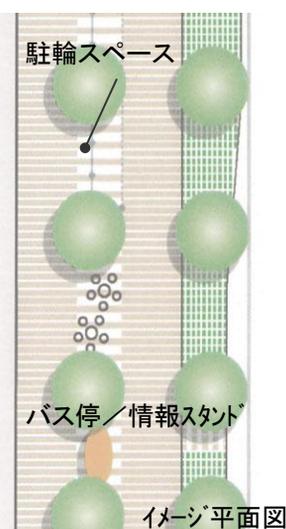
木陰のベンチとカフェ



デザインされたバスストップ



路上の駐輪スペース



路上駐輪の実態(2004.4.当会調べ)

【調査概要】

□調査日：2004年4月13日(火)晴れ

□調査範囲：御堂筋(淀屋橋南詰め～博労町)及び沿道街区の南北の通り(次ページ参照)

□カウント：路上にとまっている自転車及びバイクを下記の時間にカウント

始業前(7:30～8:30頃) 始業後(10:00～11:00頃)

昼休み(12:00～13:00頃) 午後(14:00～15:00頃)

終業前(16:00～17:00頃) 終業後(18:00～19:00頃)

【結果考察】

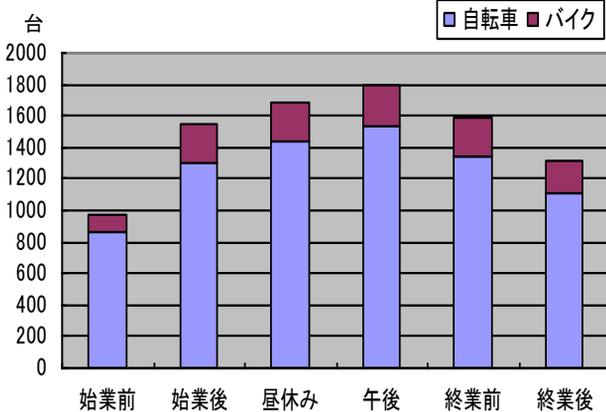
・始業前(7:30～8:30)の時間帯で974台の駐輪があり、その台数は午後(14:00～15:00)をピークとしてゆるやかに変動している。

・ピーク時は、御堂筋沿道で1,248台、通り側で550台、計1,798台。次ページにその時の駐輪状況の分布を示している。

・バイクは路上駐輪全体の11～16%である。

・路上駐輪が多く発生しているゾーンは、地下鉄駅の南北の両端出入口付近及び駅と駅の間地点である。

路上駐輪台数(調査範囲全体)



調査日の状況(淀屋橋付近)



約1,800台が路上に駐輪

当会の実態調査によると、始業前の7時半時点で約1,000台の路上駐輪が確認されました。これらの多くは、いわゆる放置状態ではないかと推察できます。

また、ピーク時には約1,800台の路上駐輪があり、その分布を見ると、多い場所は地下鉄駅の出入口付近などです。その様な所では、路上駐輪が交通障害となり、狭くなった歩道で多くの歩行者と自転車の通行がすれ違う危険な状態が生まれています。ちなみに、平野町付近の東側歩道で約8,900人の歩行者と約2,600台の自転車が1日にすれちがっています。※1

加えて、自転車だけでなく、原動機付自転車や大きくて重い自動二輪車までが、歩道上に駐輪していることも大きな問題であると考えております。そもそも、歩道上に乗り上げること自体が大変迷惑です。

自転車は環境の時代にふさわしい乗り物であり、現在御堂筋界隈のビジネス活動の強い味方でもあることから、会として自転車と共存するまちづくりを志向していこうと考えています。

今回の街路のあり方についての提案は、そのための本格的な対策になるものとの思いでまとめ上げたものですが、日々このまちを活動の拠点としている私どもにとって、できることは今すぐにでもやらねばならないと考えます。マナーに反する歩道上駐輪、なかでも特に放置自転車とバイク(原動機付自転車及び自動二輪車)の対策については、関係者の粘り強い取締りを切にお願いしたいと存じます。

私どももまた、沿道不動産オーナーとして、今回の調査の詳細データにより駐輪の実態を再認識し、所有するビルの駐輪需要に対する見直しをはじめとして、敷地内に来館者用駐輪ゾーンを検討するなど、何ができるかを考え、可能なところから実践してまいります。何卒ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

※1 1日交通量(昼間12時間7:00～19:00) 2003年3月当会調べ/p09参照

御堂筋STYLE創生

-ビジネスストリートの未来を創る・発信する-

2005.09 御堂筋まちづくりネットワーク

出会い・ビジネスチャンスのあふれるまち

- ・生活関連産業、ソフト産業など金融以外の時代をリードする様々な産業の集積もできている。
- ・沿道ビル内の会議室や御堂筋に面するショールームでは、こうした産業に係るデザイナーの会議やイベントが開催され、また、周辺にはビジネスフエアが開催される展示場もできている。
- ・そして様々な業種のワーカークラス、経営者、学生、旅行者などが、昼夜、平日休日を問わず集まっている。集まるための場がある。
- ・その交流の中からビジネスが芽生え、発展し、起業していく。そのための安価なオフィス、小規模ビルが御堂筋周辺には残されている。そして大企業が集積する御堂筋への進出を目指している。
- ・そのことが集積、交流、起業の好循環を生んでいる。



さまざまな知的刺激のあるまち

- ・様々な業界で活躍するワーカークラスが、街かどのカフェやレストランで語り合っている。そこでは最先端の情報、活動的なワーカークラスの姿に触れることができる。自分を磨くことができる。
- ・「御堂筋彫刻美術館」構想が定着し、その一環として図書館、美術館、コンサートホールが立地した。そして様々な催しが開催される北御堂、南御堂を含め、芸術・文化に触れる機会も増加した。
- ・人的ネットワークを拡げたいと思えば、会員制のサロン、様々な交流会などのしかげがある。
- ・大学のサテライトキャンパスやビジネススクール等、スキルアップのための施設が充実している。



聴える・楽しめるまち

- ・週に1度の屋外みどり時間運動も定着し、カフェやレストラン、ポケットパークは賑わい、ミニコンサートや軽スポーツを楽しむ人も増えている。
- ・歩道や公園空地にカフェテラスやキオスク、屋台を設置し、ベンチを置くことができるようになった効果は絶大。そ
- ・また競速車線の活用によるカフェも新たな魅力である。それによりイチョウ並木の魅力も再認識されている。
- ・「御堂筋彫刻美術館」構想の定着により、彫刻も注目され「彫刻ストリート」として広く知られるようになった。
- ・整備された街区内の歩行者スペースも快適だ。季節感のある花や緑にあふれ、ビジネスだけでなくゆったりとした時間をも味わえるまちになってきた。



付加価値の高いまち

- ・質の高い建築物の集積、近代建築、イチョウ並木、彫刻などにより、新たな「活力」と風格が形成された。
- ・イチョウのイルミネーションやライトアップにより、夜間の魅力もアップした。
- ・御堂筋にオフィスを構えていることがステータスであり、良好な企業イメージ創出の大きな要因である。
- ・不動産価値は上昇、建替えやリニューアルが進み、さらに価値が上昇するという好循環が生まれている。



活発な情報の受発信ができるまち

- ・エリア内企業ネットワークが機能し、各種情報発信のしくみの存在が御堂筋の優位性となっている。それは御堂筋まちづくりネットワークを中心とした周辺の団体も加わったポータルサイトである。
- ・このネットワークを活用した御堂筋ブランド企画商品の商品化が図られ、周辺の活性化に寄与している。
- ・一方で、沿道ビル1階のショウウィンドーからも、新しい情報が継続的に発信されている。



チャレンジシ変化していくまち

- ・「御堂筋まちづくりネットワーク」が核になり、時代の変化に合わせてまちの歩むべき方向が示され、実践され、変化している。
- ・ビジネスセンターの新しい姿は、御堂筋で生まれ全国に発信される。
- ・新しい試みはまちの各所でおこなわれ、まちにはそれを支える風土が醸成している。



利便性の高いまち

- ・充実した地下鉄網に加え、船場エリア内のルーガバスやレンタサイクルにより利便性はさらに高まった。
- ・オフィスサポート機能も充実し、起業の環境も整っている。
- ・ホテルやレストランも充実し、遠方からの来客は、終日御堂筋周辺に滞在可能となった。



訪れたい・住みたいまち

- ・御堂筋周辺の豊富な歴史的・文化的資源が御光を浴びており、御堂筋を訪れる人が増えた。
- ・カフェやレストランは、来街者にも人気があり、夜間や休日にも賑わっている。
- ・御堂筋周辺は「住みたいまち」となり、低層階に店舗、高層階に住宅というスタイルが増えた。



□御堂筋の魅力



四季を感じる並木



アート

歴史



路面店舗・カフェ



ビル群、企業群



□御堂筋の課題

- 路上駐輪問題（自転車・バイク）
- 歩行者と自転車の交錯
- 憩うスペースがない（ベンチ、ポケットパークがない）



□御堂筋の歩行者・自転車交通量

1日交通量（7:00～19:00）2003年3月：当会調べ

	平野町西側歩道	平野町東側歩道
平日	7,644 人（歩行者） 2,309 台（自転車）	8,925 人 2,608 台
休日	1,608 人 830 台	2,239 人 1,075 台

	博労町西側歩道	博労町東側歩道
平日	4,986 人 2,574 台	5,821 人 2,886 台
休日	1,845 人 1,151 台	2,315 人 1,489 台

□御堂筋まちづくりネットワーク
会員(五十音順)

あいおい損害保険(株)
 (株)イトゥビル
 今西土地建物(株)
 NREG東芝不動産(株)
 NTT都市開発(株)
 大阪ガス(株)
 関電不動産(株)
 銀泉(株)
 京阪神不動産(株)
 三富物産(株)
 真宗大谷派難波別院
 積水ハウス(株)
 (株)銭高組
 学校法人相愛学園
 (株)損害保険ジャパン
 (株)竹中工務店
 東京海上日動火災保険(株)
 東京建物(株)関西支店
 日本生命保険(相)
 日本土地建物(株)関西支社
 ヒューリック(株)
 本願寺津村別院
 (株)豆新本店
 ミズノ(株)
 三井住友海上火災保険(株)
 三井不動産(株)関西支社
 (株)三菱東京UFJ銀行
 明治安田生命保険(相)
 有楽土地(株)大阪支店
 (株)淀川製鋼所

特別会員
 (社)関西経済連合会
 (独)都市再生機構西日本支社

(2009年9月現在、32者)

御堂筋まちづくりネットワーク

代表幹事

横川浩(大阪ガス(株))

都市環境部会(提案作成担当部会)

部会長

村田正隆(京阪神不動産(株))

お問合せ

御堂筋まちづくりネットワーク事務局
 〒541-0053大阪市中央区本町4-1-13(株)竹中工務店内
 TEL 06-6263-7541 FAX 06-6271-0392
 E-MAIL info@midosuji.biz

※ この提言書は2004年6月に作成したものです。内容の一部(8ページ御堂筋STYLE創生、巻末会員一覧等)は2009年9月に改定しておりますが、今日も提言内容の実現に向け継続して活動しております。